

# 北地域まちづくり新聞

かわら版

第76号

(発行) 大口町北地域自治組織

(協力) 大口町 地域協働課

2019.3.1 (発行)

## 1月だけで北地域に2件の泥棒（侵入盗）！

### 侵入に気づいた場合は、泥棒が未だ潜んでいるかも？

侵入盗被害は、侵入に気づいた場合に強盗などの凶悪犯罪に発展する恐れがあるため非常に危険です。

その対策として、例えば「外から帰った時に、ガラスが割れていたり、ドアが解錠されていたり、明らかに不自然な状況のときには、もしかすると泥棒が邸内に潜んでいる可能性もあるので、家の外で警察に連絡し警察官の到着を待つ」などで身の安全を守りましょう。



### 防犯対策を強化

- ・住宅や店舗等の出入り口、窓はツーロック、補助錠の取付、防犯アラーム
- ・窓ガラスは防犯ガラス（お金はかかるが効果は高い）、防犯フィルム（窓の全面に貼る）
- ・外は、防犯カメラやセンサーライト（一晩中の照明にすると、より効果的）
- ・高い塀はいったん入られると、やられたい放題。道路等の外から見えるようにする
- ・警備保障会社と契約（初期及び毎月の費用は必要）

### 小さな被害から始まるときもある。小さな被害でも届け出

前兆は下着泥棒などの小さな被害から始まることもあります。面倒がらずに警察への届け出をしてください。防犯対策強化はもちろん、ご近所にも泥棒が入ったことを伝えましょう。

私たちは、大口町北地域自治組織とともにまちづくりに取り組んでいます。

#### 堀尾史蹟顕彰会

3/31 金助桜まつり・出発式・堀尾社例大祭

お問い合わせ 顕彰会事務局 95-3121



**LOKUMA**  
OPEN POSSIBILITIES

「ものづくりで可能性を切り拓く」ということ。

## 普段からの近所付き合いが大きな防犯対策

住宅や店舗などの防犯対策が厳重であること以外に、犯行を諦めた理由として多いのは、「近所の人に声をかけられたり、ジロジロと見られたりしたこと」とのことです。普段からの近所づきあいも大きな防犯対策です。犯人は営業マン姿 60%、工事業者姿 30% です。知り合い、近所どうしはもちろん、普段は見かけない人が近所を歩いていたら、あいさつをすることが大きな防犯対策になります。

そして不審者を発見した時は迷うことなく「110番通報」をしてください（警察からのお願い）。

## 地震火災を少なくする事前対策も必要、消火訓練も重要！

### 地震の揺れでの火災、半数以上は電気が原因！

東日本大震災における本震の揺れに伴う火災のうち、54%が電気関係の出火でした。揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する通電火災です。



### 電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的

感震ブレーカーは、大きな地震のときに電気を自動的に切ってくれます。家に誰もいないときやブレーカーを切って避難する余裕がないときに電気による火災を防ぐことに役立ちます。

【感震ブレーカー例】  
※広報おおぐち（H29.4）より

### 今年の3月31日までに設置すれば最大1万円の補助金

- (1) 感震ブレーカーの設置（補助金をもらうためには次の条件を満たす機器での設置が必要）
  - ・分電盤タイプ：一般社団法人日本配線システム工業会の感震機能付住宅用分電盤（JWDS0007付2）の規格で定める構造および機能があるもの
  - ・簡易タイプ：一般財団法人日本消防設備安全センターの認証があるもの
- (2) 申請期間：平成31年3月31日までに設置し、平成31年4月26日までに申請してください（土・日・祝日を除く）ただし、過去に申請された方は対象外です。
- (3) 家具転倒防止、ガラス飛散防止等も対象です

※事前に大口町役場 町民安全課（☎ 95-1966）に問い合わせしてから実施ください。



### 夜間の停電でも照明が確保できる対策を

大きな地震のときは、停電が発生します。家の中はグチャグチャ。夜なら真っ暗。転んだりケガする危険がいっぱい。

対策として、停電時に作動する足元灯を設置したり懐中電灯などの照明器具を準備しましょう。素足は危険です。寝る時も近くにスリッパを置いておきましょう。